

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

本別空襲の日

2...
**決して忘れては
ならない7月15日**

戦没者・戦災死没者追悼式と参列のお知らせ

国民年金コーナー

力の限り

4...
運動会・体育祭

6...
町じゆんたくさんの花・はな

本別町チャレンジデー2011

8...
毎日の生活に運動やスポーツを
第9回ほんべつ元気学宿

10...
オール十勝で定住自立圏を形成

- 11 ハロー本別中学校.....
- 12 マイタウン.....
- 14 復興を願って.....
- 16 みんなの健康・銀河ホットライン.....
- 17 ご寄付ありがとうなど.....
- 18 本のある暮らし・わたしたちのまち.....



出勤前のラジオ体操

5月25日に町内で実施された、本別町チャレンジデー2011。各種イベントが展開される中、役場正面玄関前で開催された「出勤前のラジオ体操」には約110人の町民が参加しました。

決して忘れてはならない7月15日
平和への誓い新たに



空襲を受け3分の2が焼失した本別市街

第二次世界大戦終戦間際の7月15日、本別町は十勝で最大の被災地となる空襲を受けました。本別町史には「米軍機は、まったく非武装の本別市街を、地上から乗員の顔やジャンパーが見えるほどの超低空飛行で機銃弾を打ち込み、爆弾を投下するなど、およそ50分にわたり攻撃を繰り返した」とあります。40人が死亡し、275戸が全焼。被災者総数は1915人、火事は手のほどこしようがなく三日三晩に及び、一時は火の明かりで日常の作業ができるほどであったといえます。

それから66年が経過し、町並みも生まれ変わり、今や戦争の傷跡を見つけるのも難しくなりました。空襲を受けた私たち本別町民は、この悲惨な戦争を繰り返さないよう後世に伝えていかなければなりません。本別空襲のあった7月15日には、空襲で犠牲になられた人や幾多の戦役で戦死された人のご冥福をお祈りし、二度と悲惨な戦争を起こさないことを誓うため「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が行われています。そして7月15日を中心に語り継ぐための事業が開かれます。

本別町戦没者・戦災死没者追悼式

とき **7月15日(金) 午前10時**
ところ **ふれあい交流館 (向陽町)**

今年も「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が執り行われます。本別町では、日清・日露・第二次世界大戦の戦役で299人が戦死され、本別空襲において40人の尊い命が奪われています。追悼式は午前10時に始まり、黙とう、追悼のごとば、献花など犠牲者のご冥福をお祈りし、平和への誓いを新たにしています。町民の皆さんの参加をお願いするとともに、黙とうを呼び掛けるサイレンが午前10時5分ごろに吹鳴されますので、一緒に黙とういただきますようお願いいたします。

黙とうを
お願いいたします



昨年の追悼式

国民年金

納付が困難なときは

経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な場合には、申請により保険料の納付が免除、猶予になる制度があります。保険料の免除や猶予を受けずに保険料が未納の場合、不慮の事態により障がいが残ったり、死亡したとき、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられない場合があります。

全額・一部免除制度

免除申請が認められるには、申請者本人のほか、配偶者や世帯主の前年中の所得(申請の時期によっては前々年中の所得)が、国で定めた所得基準の範囲内である必要があります。免除区分は全額免除と一部免除(3区分)があり、それぞれの免除期間のうち年金に反映される期間は、全額納付したときと比べ次の通りとなります。

免除区分	一部免除			全額免除	受け取る年金額
	4分の1免除	2分の1免除	4分の3免除		
全額納付の2分の1	全額納付の8分の7	全額納付の4分の3	全額納付の8分の5	全額納付の2分の1	

※さらに、30歳未満の人には「若年者納付猶予制度」、学生の人には「学生納付特例制度」があります

- 【申請手続きに必要なもの】
- ① 年金手帳または基礎年金番号のわかるもの
 - ② 印鑑
 - ③ 他の市(区)町村から転入された人は、前年の所得を証明するもの
 - ④ 学生納付特例の申請については、在学証明書または学生証の写し
 - ⑤ 失業などを理由にする場合は、「雇用保険受給資格者証」「離職票」

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
022-8128

6/4 本別中央小学校大運動会

スローガン

「燃える熱気あふれる運動会
～届けみんなのエール被災地へ～」

お見事！
組体操での巨大ピラミッド



元気いっぱい！
1年生による玉入れ



幼児も参加しました



全力疾走！
スウェーデンリレー



みんなでフォークダンス



小学生によるヨサコイ



力のこもった綱引き

力の限り

6/5

仙美里・美里別保育所、 仙美里小学校・中学校合同運動会

スローガン

仙美里小学校「手をつなぎ 力を合わせて

優勝めざせ」

仙美里中学校「一致団結、強い絆、たえない笑顔」

5/28

勇足保育所、 勇足小学校・中学校大運動会

スローガン

勇足小学校「かがやく優勝目指して
力を合わせて頑張ろう！」

勇足中学校「全力疾走、23の心を一つに」



入場行進



地域の人も参加しました



追力満点11人12脚



回し手と跳び手の呼吸が一つに

5/30 本別中学校体育祭

スローガン 「かがやく 眩～秘めたる力」



チームジャンプ125回
4年ぶりの本中記録更新！



数年ぶりに復活！
部・少年団対抗リレー



気持ちをつないで！ いなばの黒うさぎ

町じゅうに たくさん はな

5/27



本別町自治会連合会（三枝金作会長）が5月27日、「花いっぱい運動」を実施しました。花とみどりあふれるまちづくりを目的に毎年行われ、今年も国道沿いの花壇や公共施設などを、15自治会が整備。参加した人たちは、6000株の花を慣れた手つきで丁寧に植え付け、町じゅう花でいっぱいになりました。

5/28



5月28日、共栄、南4丁目、仙美里元町、勇足元町4自治会の会員約150人が、帯広開発建設部のボランティアサポートプログラム事業を実施しました。ペコンアやマリールドなどの花4950株や肥料で整備された国道242号線沿いの花壇は大変きれいになり、通行人や道行くドライバーの目を惹かせています。

5/22



本別町商工会女性部（小川睦子会長）が5月22日本別公園にエゾムラサキツツジ60本を植樹しました。これは毎年本別公園を訪れたお客さんを快く迎えられるようにと行われているもので、参加した部員7人は、手際よく丁寧に植樹しました。

5/30



5月30日、鎌田建設工業株式会社（鎌田健治社長）と西江建設株式会社（西江靖幸社長・帯広市）の職員10人が、町道共栄緑町線通りの花壇を整備しました。これは、地域美化活動の一環として毎年行われており、これからの観光シーズンに向け、道路沿いは約8000株の花で彩られました。

6/3



6月3日、本別町市街地婦人会（田原美枝代表）の会員26人が、道の駅「ステラ★ほんべつ」西側の花壇の整備を行いました。多くの観光客を迎えるため、今年は3色のペコンア約1000株が彩りよく丁寧に植え付けられました。

6/5



6月5日、病院ボランティアや、母子寡婦会、職員ら24人が、町国保病院前花壇の花植えを行いました。花壇には、マリールドやペチユニアなど8種400株が植えられ、待合室からも彩りよく見えるよう丁寧に植えられました。

6/12



本別建設業二世会（佐藤貢会長）が6月12日、本別公園内のつつじの木の整備を実施しました。参加した会員12人は、来年もきれいな花が咲くよう重機やスコップなどを使いながら、一本一本丁寧に雑草を取り除き根元に火山灰を敷く作業に汗を流しました。

6/22



6月22日、株式会社野田組（野田仁社長）の職員12人が、町体育館と町図書館周辺の花壇整備を実施しました。これは、地域貢献活動の一環として行われたもので、来町者が心を和ませてもらえるようにと、ペコンアやサルビアなど5種、約500株の花が丁寧に彩りよく植え付けられました。

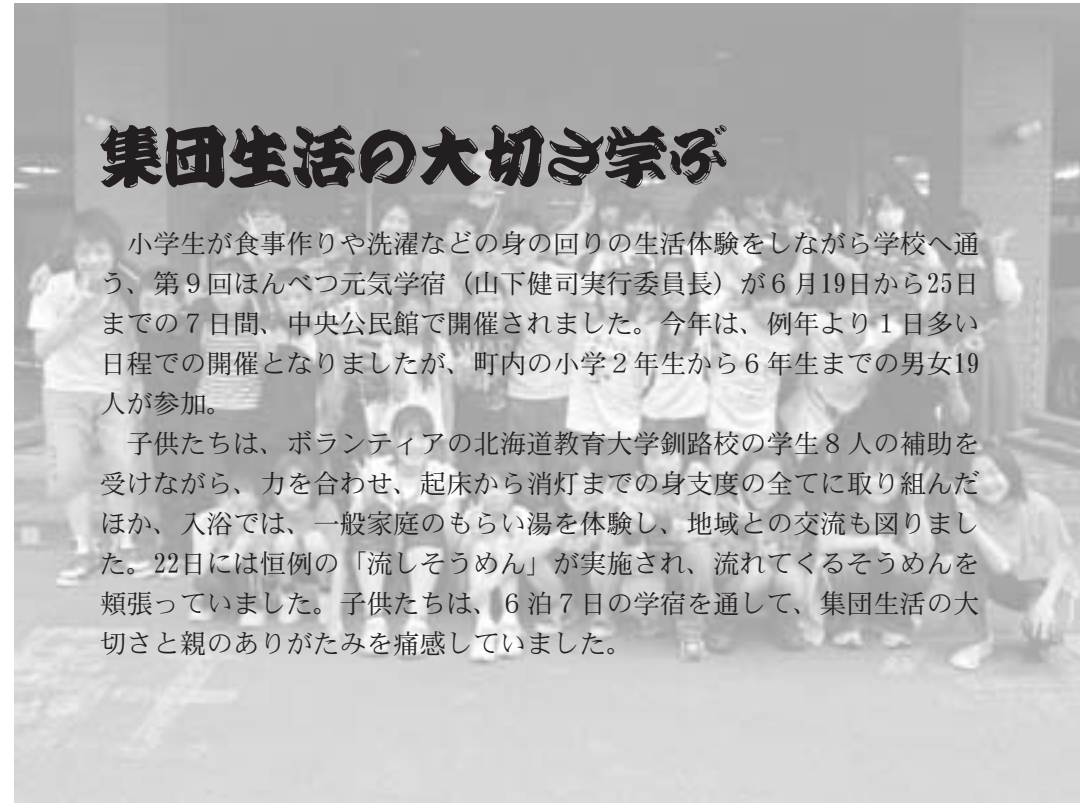
6/8



6月8日JA本別女性部（三井玲子部長）の部員40人が本別大橋から本別高校までの通学路の花壇整備を実施しました。通学路には、サルビアやマリールドなど、700株が植えられ、花たちが毎日通学する子どもたちを見守っています。

第9回 ほんべつ

元気学宿



集団生活の大切さ学ぶ

小学生が食事作りや洗濯などの身の回りの生活体験をしながら学校へ通う、第9回ほんべつ元気学宿（山下健司実行委員長）が6月19日から25日までの7日間、中央公民館で開催されました。今年は、例年より1日多い日程での開催となりましたが、町内の小学2年生から6年生までの男女19人が参加。

子供たちは、ボランティアの北海道教育大学釧路校の学生8人の補助を受けながら、力を合わせ、起床から消灯までの身支度の全てに取り組んだほか、入浴では、一般家庭のもらい湯を体験し、地域との交流も図りました。22日には恒例の「流しそうめん」が実施され、流れてくるそうめんを頬張っていました。子供たちは、6泊7日の学宿を通して、集団生活の大切さと親のありがたみを痛感していました。



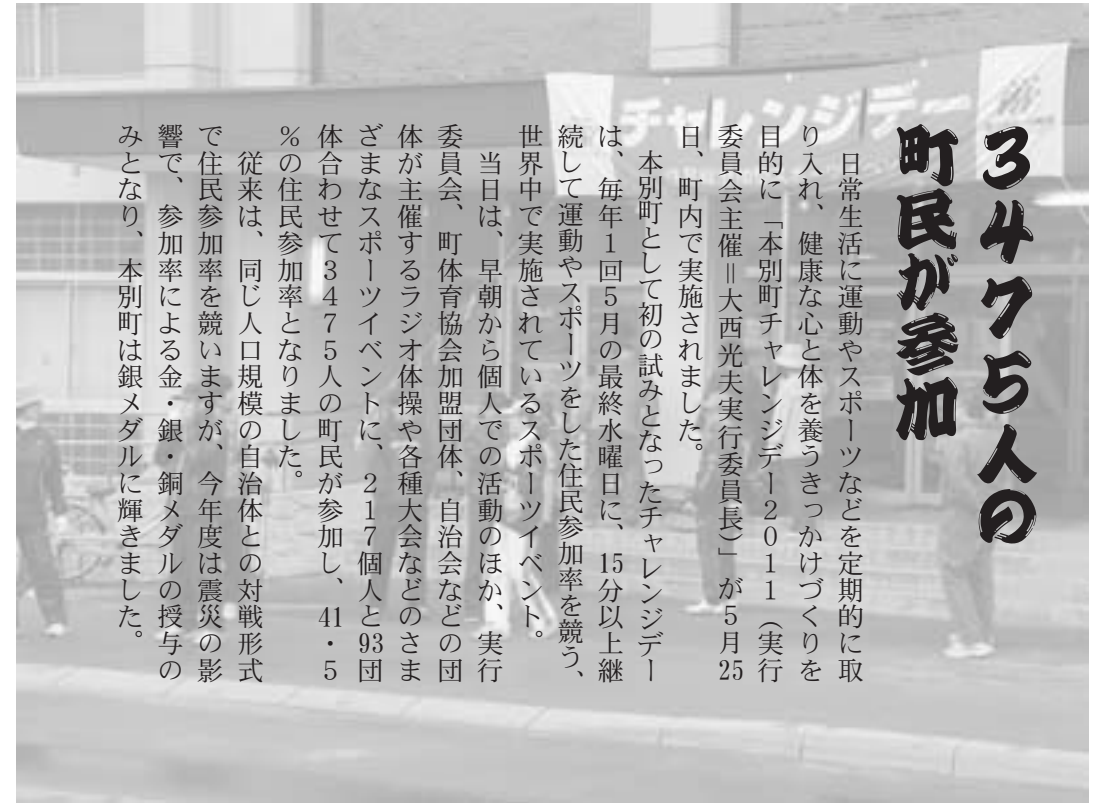
流れてくる麺をキャッチ。おなかいっぱい食べました



「もらい湯」後のひととき。お風呂を提供していただいた皆さん、ありがとうございました

本別町チャレンジデー2011

毎日の生活に運動やスポーツを



3475人の町民が参加

日常生活に運動やスポーツなどを定期的に取り入れ、健康な心と体を養うきっかけづくりを目的に「本別町チャレンジデー2011（実行委員会主催 大西光夫実行委員長）」が5月25日、町内で実施されました。

本別町として初の試みとなったチャレンジデーは、毎年1回5月の最終水曜日に、15分以上継続して運動やスポーツをした住民参加率を競う、世界中で実施されているスポーツイベント。

当日は、早朝から個人での活動のほか、実行委員会、町体育協会加盟団体、自治会などの団体が主催するラジオ体操や各種大会などのさまざまなスポーツイベントに、217個人と93団体合わせて3475人の町民が参加し、41.5%の住民参加率となりました。

従来は、同じ人口規模の自治体との対戦形式で住民参加率を競いますが、今年度は震災の影響で、参加率による金・銀・銅メダルの授与のみとなり、本別町は銀メダルに輝きました。



午前5時30分からの教室にもかわらず24人が参加した、早朝ノルディックウォーキング教室



48人が爽やかな汗を流した、アジャタ（玉入れ）タイムトライアル

HELLO 本別中学校

入学式



1年A組



1年B組



生徒会入会式

緊張の一瞬



部活動説明会

先輩の迫力

教育目標

力行 力いっぱい学ぶ生徒
方正 真面目に考え行動する生徒
錬磨 身も心も鍛える生徒

「本別学びの日」～4つの風の中で～
地域と共に歩み、地域の風が行き交う学校づくり

学校祭テーマ
「**炫々秘めたる力**」のもと
生徒**158人**の力が結集した最高の舞台へ



体育祭
5月30日(月)
大成功御礼

今年度の本別中学校体育祭はあいにくの雨で1日順延となってしまいました。しかし、予想を超えるたくさんの保護者・地域のみなさまにお越しいただき、盛大な催しとなりました。寒い1日でしたが、みなさまの熱い声援に子どもたちも張り切って取り組んでいました。本当にありがとうございました。

これからも、文化祭・地域参観日・本中強歩・吹奏楽部定期演奏会など地域公開の行事がたくさんあります。ぜひ生徒の活動のようすをご覧ください。皆様のご来校を心よりお待ちしております。

オール十勝で 定住自立圏を形成

本別町も6月定例町議会で定住自立圏の形成協定の締結について可決

最近、十勝管内の各町村で定住自立圏の形成協定について議会で可決という話しが聞かれます。本別町でも、6月定例町議会で定住自立圏の形成協定の締結について可決されましたが、そもそも定住自立圏構想ってなんなのかについてお知らせします。

地方における人口の減少や少子化・高齢化は留まることなく進んでおり、十勝における人口も平成17年の国勢調査で35万4千人いた人口が平成22年には34万8千人と約6千人減少しています。特に町村部における減少は顕著で、減少率が10%を超える町もあり、今後も人口減少と急速な少子化・高齢化が見込まれています。このような状況を踏まえ、町村部でも安心して暮らせる地域を形成し、町村部からの人口流出を食い止めるとともに、それぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、都市圏からの人の流れを創出することが求められています。

この実現に向けて、「中心市」の都市機能と「周辺市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、行政と民間が相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るため圏域全体で必要な生活機能を確保することも、魅力あふれる地域の形成を目指すし、地方圏への人口定住を促進する政策が定住自立圏構想です。

定住自立圏についての問い合わせは
企画振興課企画・生涯学習へ
022-8121

十勝の取り組み
中心市は帯広市

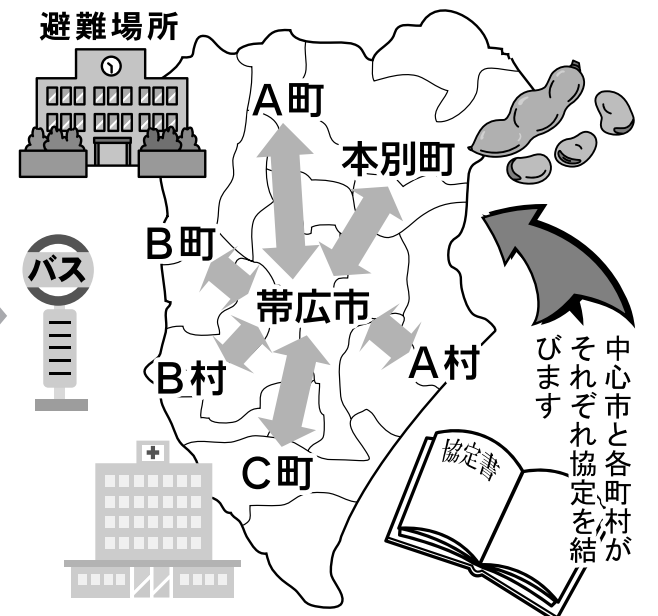
平成21年11月から、十勝19市町村で構成する十勝圏広域連携推進検討会議などにおいて、医療体制や産業振興・交通体系の整備など、住民生活を向上させるための連携の可能性について調査・研究などを行い、平成22年11月26日に管内の市町村長により、オール十勝で定住自立圏の形成を目指すことを確認しました。

定住自立圏の形成

帯広市
中心市宣言
連携する町村の意向を配慮しながら、地域全体のマネジメント等において中心的な役割を果たす意志等を公表

定住自立圏形成協定

人口定住のために必要な生活機能を確保するため、役割分担し、連携していくことを明示



ジョナサン座が やってきた!

6 14

家庭教育支援事業「なかよし」による「ジョナサン座（代表山口和子）公演」が6月14日、子育て支援センターで開催されました。会場には、21組の親子と中央保育所うさぎ組の幼児ら約70人が集まり、テンポよく披露される腹話術や紙しばい、あやつり人形、手品に、歓声を上げたり、たくさんの拍手を送るなど楽しい時間を過ごしました。



吹奏楽合同演奏会

6 11

第28回吹奏楽合同演奏会（本別町文化協会主催）が6月11日、中央公民館で開催されました。演奏会には、本別ジュニアブラスアンサンブル、本別中学校吹奏楽部、本別高等学校吹奏楽部、本別ブラスアンサンブルが出演し、童謡や歌謡曲など全13曲を披露。最後には、4団体総勢89人による合同演奏でアンコールを含め5曲を演奏し、会場に訪れた家族や友人など約250人を魅了しました。



銀河サロン花見交流会

5 26

銀河サロン（三井誠子委員長）の花見交流会が5月26日、本別公園で開催されました。花見交流会は、毎年5月の恒例行事として、つつじやサクラに囲まれながら食事をする事で、参加者の親睦を深めるために実施されています。約60人の参加者は、青空の下で、焼肉をおなかいっぱい食べながら、宝探しゲームやカラオケを楽しみ、さわやかな初夏のひとときを過ごしました。銀河サロンでは、子どもから高齢者、障がい者など、幅広い人が集まり、毎月健康ダンス・カラオケ・集いを楽しんでいます。



今年も街が きれいになりました

5 28 6 4-11

5月28日に株式会社野田組（野田仁社長）と株式会社山中（敵地昭夫社長）の職員の皆さん約50人が、役場や道の駅周辺、本別川・利別川河川敷などの清掃作業を、6月4日には勇足元町子ども会（林光伸会長）の会員など19人が、勇足元町地区の国道、町道脇のごみ拾いを、6月11日には町内の郵便局（代表：佐々木健樹本別郵便局長）と上浦幌郵便局の職員の皆さん約20人が、役場前町民憩いの広場のたんぼ取りや草刈りのボランティアに汗を流しました。



株式会社野田組と株式会社山中の皆さん



勇足元町子ども会の皆さん



郵便局職員の皆さん

オーストラリア・ミッチェル訪問団 カースティーリーさん来町

6 14

昨年5月に姉妹都市オーストラリア・ミッチェル訪問団の一員として来町した、カースティーリーさんとパートナーのステーブンさんが6月14日、本別町を訪れました。「本別に来たい」との思いから来町した2人は、町内でホームステイをしながら19日まで滞在。期間中は、町内の小・中学校、高校を訪問するなどして過ごしました。9月のきらめきフェスタにもぜひ来たいと語っていました。



本別消防団連合演習

6 12

2年に1度の本別消防団（遠藤利之団長）の第1・第2・第3分団消防連合演習が6月12日、河川運動公園芝生広場で実施されました。演習には、団員85人と消防車両8台が出動。団員は、号令が響き渡る中、きびきびとした緊張感のある動きで、小隊訓練や消防操法、一斉放水など日ごろの訓練の成果を披露しました。



ペットボトル ロケットに歓声

6 11

前期あかげら少年団（教育委員会主催）の活動が6月11日、町体育館でスタートしました。この日は、結団式終了後、ペットボトルロケットを製作し、河川運動公園で発射実験。参加した小学3年生から小学6年生15人は、猛スピードで打ち上げられるロケットに歓声をあげていました。



全道大会で頑張ります

6 8

十勝地区予選を勝ち抜き、6月18日、19日に旭川市で開催される第12回北海道小学生ABCバドミントン大会の小学生C区分（1・2年生）女子シングルスに出場する本別バドミントン少年団（佐々木洋一代表）の加藤絵里さん（仙美里小2年）が6月8日、教育委員会を訪れ全道大会出場の報告をしました。加藤さんは「全道大会で頑張ります」と力強く抱負を述べ、中野博文教育長は「自分の力を出し切れるように頑張ってください」とエールを送りました。



全道大会での健闘を誓う 6 16



十勝地区予選を勝ち抜き、7月17日、18日に函館市で開催される第29回北海道小学生陸上競技大会に出場する本別陸上少年団(中山智洋代表)の太田龍聖くん(中央小6年)と三浦竜斗くん(中央小6年)が6月16日、役場を訪れ全道大会出場の報告をしました。2人は「ベスト8に入りたい。いい記録を出せるように頑張ります」などと力強く抱負を述べ、高橋正夫町長は「練習の成果が出るように頑張ってください」と激励しました。

故 井上米治さんに叙勲 6 16

故 井上米治さん(元町議会議員)が、旭日単光章を受章し6月16日、高橋正夫町長らが勇足西1の井上さん宅を訪れ、妻の幸さんに勲記と勲章を伝達しました。井上さんは昭和53年8月に本別町議会議員に当選して以来、3期12年にわたり在職され本別町議会総務常任委員会副委員長、同文教厚生常任委員会副委員長などを歴任されたほか、本別町農業委員会委員、本別町社会福祉協議会理事など数多くの要職を務めながら、協働のまちづくり実践の先駆けとして地域福祉の増進と生活環境の向上に尽力されました。



旧交を深め、再会を誓う

6 18・19



東京本別会・清流会総会



札幌本別会総会

東京本別会(前田廣治会長)と本別高校同窓会東京支部清流会(中川正幸会長)との初めての合同総会が6月18日、都内千代田区のイベントホールで開催されました。高橋正夫町長が本別町の近況を報告し、方川一郎町議会議長(本別高校同窓会会長)が祝辞を述べた後、総会では、新津悦男新会長(千葉県流山市在住)らの役員改選を承認。会員らは、近況を語り合い、話に花を咲かせていました。ふるさと本別町のブランド「キレイマメ」や特産品販売コーナーが盛況だったほか、地元企業から提供された特産品、ふるさと本別の特産品抽せん会も盛り上がりました。最後に「ふるさと」と「本高生」を出席した80人で大合唱し、再会を誓い合いました。

翌19日は、第43回札幌本別会(相澤裕会長)総会が札幌市内のホテルで開かれ、約50人が旧交を深めました。相澤会長が新会員を紹介し、「会員も増え、より充実した会にしていきたいと思います」とあいさつ。ビンゴゲームで交流を深めました。

陸上競技場が最高のコンディションに 6 20

㈱井上産業(井上好春社長)が6月20日、河川運動公園陸上競技場を整備しました。この整備は、地域貢献活動の一環として行われたもので、トラック部分をタイヤローラーで転圧し、不陸を調整。作業後のトラックは、凸凹のない素晴らしいコンディションになりました。この活動は、今年4月から5月にかけて行われた同運動公園内の転圧作業に続き2回目です。



いよいよ開局 6 17

光ケーブルを利用し高速インターネットやテレビ放送を提供するOCTV(帯広シティーケーブル)本別エリア開局式が6月17日、北2丁目本別中継局舎で開かれました。林浩史十勝毎日新聞社社長が「安心安全な生活を送るために、正しい清潔な情報を提供し、本別町の活性化と発展に貢献したい」とあいさつ。続いて、高橋正夫本別町長と東向陽太郎古河電気工業株式会社札幌支社長がお祝いの言葉を述べた後、林社長、高橋町長、東向支社長によるテープカットで開局を祝いました。



復興を願って

東日本大震災
南三陸町



現地の状況を語る高橋正夫町長

何とも言えない 辛い気持ちになった

6月2日に川一郎町議会議長と共に南三陸町を訪問した高橋正夫町長が6月6日、課長会議の席上で、現地の様子や佐藤仁南三陸町長との会談内容について報告し、現地に広がる、津



佐藤仁南三陸町長と会談の様子

波により何もなくなった光景を目の当たりにし、「何とも言えない辛い気持ちになった」と訪問時の心境を語りました。役場仮庁舎で実施された会談では、佐藤町長から水道・下水道などのライフラインの整備や仮設住宅の建設状況など、現地の復旧状況について説明を受けたほか、震災により中止となった3月末の本別町への南三陸町の子供たちの受け入れを、夏休み期間中に実施することについて確認。高橋町長は、「南三陸町では、いまだに何をしたらよいかわからない手さぐりの状況が続いている。今後とも今まで培ってきた絆を大切に、協力していきたい」と述べました。

同日、5月19日から6月2日まで同町に派遣されていた第4次町職員派遣隊の2人から、高橋町長への帰町報告も実施されました。



活動の報告をする第4次町職員派遣隊員

南三陸町の子供たちが本別町へ

期間 **8月5日(金) - 11日(木)**

※8月5日から7日までの2泊3日は、町内でホームステイを予定していますので、皆さんのご協力をお願いします。詳しくは、7月1日号からの情報紙かけはしをご覧ください

情報を広報費負担へお寄せください
☎22-8121

みんなの健康

323

脈が飛ぶ、動悸がするなどを感ずる人は結構多いと思います。不整脈と一口に言っても、放置しておいていいものから、治療が必要なまでさまざまであり、これは検査をしなければ判断はつきません。

不整脈のお話し

一般的な不整脈の不出ない人はほとんどいません。ホルター心電図検査といって24時間の心電図を記録する検査があり、実際に検査をしてみると個人差はありますが、誰でも何らかの不整脈がとらえられます。そのほとんどは放置可能な不整脈ですが、

心電図は正常なことが多いのが実情です。そこで先ほどのホルター心電図検査と心エコー検査を行うこととなります。ホルター心電図検査は胸に4つの電極を張り、心電図を記録する小さなカードくらいの機械を携帯して一日を過ごしてもらい、翌日に機械の回収のため病院に来て頂くという検査です。また心エコー検査は超音波で心臓の動きや働き、弁膜症の有無などをチェックするという検査です。いずれも簡単な検査で、町立病院でも行っています。

これらの検査を行った上で、放置可能なものか、それとも治療が必要な不整脈なのかを判断していくこととなります。またこれらの検査の結果から不整脈以外の心臓の病気が見つかることもあります。

動悸がする、動くとき息切れがする、脈が頻回に飛んで気持ち悪いなど心臓の病気を疑う症状が続くときは、早めに町立病院を受診して、これらの検査を受けましょう。

本別町国民健康保険病院
副院長 藤沢明徳

未来に輝く子どもたち



本別町の未来を担うかわいい星たちです。

お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育つてね!

南4丁目

井上 咲月 (知加子ママ)



北4丁目

池田 龍乃介 (麻衣ママ)



上押帯

今野 大河 (久美子ママ)



※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

ニトリ北海道応援基金 「町有林造林事業」

ニトリ北海道応援基金の助成を受けた町有林造林事業が、4月から5月にかけて実施されました。ニトリ北海道応援基金の助成は今年で5年目。今年も、上本別地区と美蘭別地区の町有地5.66haに、カラマツの苗11,320本を植栽しました。今後成長期を迎える若い森林は、二酸化炭素を吸収・蓄積する量が多く、地球温暖化防止の期待もできます。



銀河ホップアラビヤ

足寄町

足寄動物化石博物館 夏休み特別企画

夏休み特別企画として、体験メニューに古生物模型づくりが新登場。大型肉食恐竜ティラノサウルスや謎の海獣デスマスチルスの頭の骨の模型づくりを体験できます。

また、大人気の「ミニ発掘」にも、新しい種類が追加されるほか、8月5〜7日には復元講座が開催されますのでぜひご家族でお越しください。

陸別町

第3回ふるさと銀河線りくべつ鉄道まつり

りくべつ鉄道が開業して4年目となりますが、今年もふるさと銀河線を盛り上げるべく、りくべつ鉄道まつりを開催します。

7月24日(日)

午前10時〜
りくべつ鉄道駅構内
駅前多目的広場

開館時間 午前9時30分〜午後4時30分

休館日 毎週火曜日

※ただし、7月18日〜8月31日は毎日開館します

入館料

・一般 400円
・小・中学生、高校生、65歳以上 200円

・幼児 無料

※体験料は、別途かかります

詳細 足寄動物化石博物館
2519100

内容

陸小ソラン踊り、お笑いショー、大抽選会、バルーンアート、リコーダーミニコンサート、銀河線縁日、しばれ君ふわふわドーム、子供ビンゴゲーム、他にもイベントを企画中

☆今年も増力列車が走ります。すてきな出会いを見つけてみましょう。
定員は、独身の男女各16名です。

問い合わせ・申込先

陸別町観光協会事務局
2712141

ご寄付ありがとうございます 平成23年5月20日から6月10日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町国民健康保険病院指定

タオル 250本 …… 昭和21年成年会
※このタオルは、成年会25周年を記念して贈られたものです

★本別町老人ホーム指定

タオル 50本 …… 本別市街地婦人会 会長 田原美枝
洗剤(4ℓ入り) 12本 …… 札幌市 株式会社Bigワン
お茶(2ℓ入り) 12本 …… 本別町友好民謡会代表 島崎雪枝

★本別町指定

金500,000円 …… 柏木町 澤田 満
〈内訳〉
★学校図書購入指定 …… 金300,000円
★図書館図書購入指定 …… 金100,000円
★南三陸町交流指定 …… 金100,000円

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

★福祉でまちづくり推進事業 金50,000円 …… チェイトイ1 野中栄一
★本のまち・夢プラン事業 金5,000円 …… 北3丁目 小林基秀

お誕生

5月後半から
6月前半の
届出分

- 今野大河^{たいがく}大吾^{おおくみ} 5/8 上押帯
- 武市吏^{りく}句^く久^く祥^{しやう} 5/9 勇足元町
- 水木奏^{そう}輔^{すけ}英^{ひで}昭^{しょう}鈴^{すず} 5/10 新 町
- 井上咲^{さき}月^{つき}知^ち加^か子^こ 5/11 南4丁目
- 福良理^り乃^の貴^き征^{せい}眞^ま子^こ 5/20 勇足西2
- 菊池彩^{さい}月^{つき}康^{やす}祥^{しやう}敦^{あつ}子^こ 5/29 新 町
- 鎌田明^{あき}空^ら誠^{まこと}千^ち賀^か子^こ 5/31 弥生町

ご結婚

- (首藤智裕^{しゆ}清流町
- 松井歩美^{あゆみ}新 町

おくやみ

- 早瀬川キ又^{きまた} 84歳 5/15 美里別東中
- 佐藤幸吉^{しゆきち} 76歳 5/18 上本別
- 小野博^{ひろ} 76歳 5/18 山手町
- 小川ヒデ^{ひで} 82歳 5/19 栄 町
- 横田弘^{ひろ} 81歳 5/24 上拓農
- 大和田光男^{みつお} 82歳 5/28 南2丁目
- 野中シズエ^{しずえ} 96歳 6/2 チエトイ1
- 友高スイ^{すい} 101歳 6/2 美里別東1
- 林シテ子^{しよこ} 67歳 6/3 仙美里3
- 大留喜代美^{きよみ} 99歳 6/13 東 町

わたしたちのまち

前月比

- 人口 8,296人(-13)
- 男 4,084人(-5)
- 女 4,212人(-8)
- 世帯数 3,889戸(-4)

〔5月末日住民基本台帳〕

図書館では、資料館企画展「わが町の七月十五日～本別大空襲」(7月7日から8月20日)と連携して、戦争をテーマにした絵本と児童書の展示「戦争と平和児童文学」を行います。

数多くの中から、昔ながらの名作、教科書で学ぶ作品、アニメーションや映画でおなじみの作品、最近話題になった絵本など、60冊を選びました。

空襲を受けた町、本別の子どもたちには、ぜひ読んでもらいたい本ばかり。夏休みの読書感想文、意見発表文にもきっと役立ちます。どうぞ利用してください。

図書館の本を読み、資料館で資料を見て、皆さんで平和を考えてみませんか？



お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112